

遠藤のぶゆきNEWS vol.03

2016年7月発行：遠藤のぶゆき事務所 仙台市青葉区錦ヶ丘7-7-10 TEL/FAX:022-724-7037

「希望がゆきわたる国」へ全力



↑ 定禅寺通沿いで定例の街頭演説会に参加

盛夏の候、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さる7月10日に行われた第24回参議院議員選挙で、公明党は候補を立てた全国7選挙区で完勝し、比例区は目標の6議席を上回る7議席を獲得、過去最高14議席の大勝利を果たすことができました。

皆さまの温かいご支援とご期待にお応えするため、公明党は「希望がゆきわたる国」をめざし総力をあげます。私も景気回復の実感を地方に、中小企業に、そして家庭にゆきわたらせるために、県議会の場でさまざまな改革の実現に全力投球してまいります。

宮城県議会TOPICS

◎乳幼児医療費助成 村井知事「小学校入学前まで拡充」

村井県知事はこのほど、来年度から乳幼児医療費助成の拡充をすると表明。公明党県議団の長年にわたる要望がついに実現する運びとなりました。県議会6月定例会では、村井知事は公明党の庄子賢一議員の質問に答え、助成の対象年齢を現在の3歳未満から「小学校入学前」まで拡充する方針を示しました。制度の詳細は今年秋までにまとめることにしています。



◎母子・父子家庭への福祉資金貸付 連帯保証人は不要に

母子家庭など一人親家庭に、教育資金や生活資金などを無利子または低利子で貸し付ける「母子父子寡婦福祉資金」について、宮城県はこれまで、「原則、連帯保証人が必要」と説明していたのを、「連帯保証人を立てなくて申請できます」と、抜本的に改めました。これは、私が母子家庭のお母さんから「資金を借りたいが保証人が見つからない」との相談を受けたことをきっかけに、県議会保健福祉委員会で訴えて改善されたものです。いま、「子どもの貧困」が大きな社会問題になっています。私は、親の経済状況によって子どもが夢を諦めたりすることのない社会をめざします。



梅田川沿いのじゃり道を舗装（中江）



豪雨で被災した芋沢川の護岸修復（向田）



ごみの不法投棄防止看板を設置（みやぎ台）

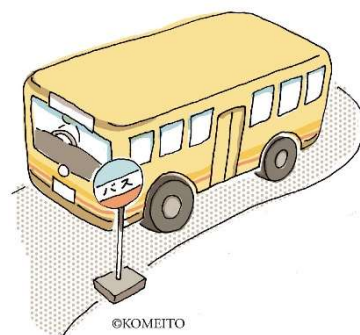


破損カーブミラーを修繕（上愛子、2カ所）

地域課題の解決に取り組みました！

敬老乗車証制度の改善に全力！

錦ヶ丘や愛子、栗生地区を走る民間バスで敬老乗車証が使えない問題の改善を目指し、仙台市議会の嶋中貴志議員と連携して取り組んでいます。嶋中議員は昨年6月と今年2月、そして今年6月の市議会定例会一般質問で、3度にわたってこの問題を取り上げ、市に早期の改善を強く促しました。市はいまだ「検討中」との答弁を変えていませんが、今後とも住民の皆様のご協力を得ながら、粘り強く制度の改善を目指して頑張ってまいります。



質問する嶋中市議

6月市議会定例会 嶋中市議の一般質問の要旨

嶋中市議「愛子観光バスへの敬老乗車証導入について、実現に向けて粘り強く取り組む立場から質問する。現状、何が課題なのか、関係者とどのような話し合いがなされたのか、それに基づき、どのような検討を行ったのか、明確に答弁いただきたい」

市の答弁「当該バス事業者とは、機器の導入の可能性や紙方式とした場合の事務の流れについて話し合いを行っている。紙方式を導入する場合には、敬老乗車証システムの改修が必要となるほか、利用実績の精算に要する事務など事業者との役割分担を含め、多くの課題があり、この間検討をしてきたが、未だ結論を出すには至っていない」